

北部病院だより 第135号(2019.9)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】泌尿器科は4月から新体制で診察しています
【医学講座コーナー】小児がん
【TOPICS】秋期公開講座のお知らせ
【医師の配属・異動・退職】
【TOPICS】モーニングセミナーを開催しています
【TOPICS】栄養科だより
【TOPICS】ロビーコンサートのお知らせ
【TOPICS】がん相談支援センターについて
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【TOPICS】がんサロンのお知らせ
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 泌尿器科は4月から新体制で診察しています

本年4月から昭和大学横浜市北部病院泌尿器科診療科長として赴任致しました。斉藤克幸講師、林圭一郎助教も4月から復帰し、以前から在職していた松原英司講師、松本佑樹助教に6月から赴任した平松綾助教を加えた6名による新体制で診療にあたっております。

泌尿器科は排尿障害、尿路感染症、尿路結石などの良性疾患から、前立腺癌・膀胱癌・腎癌などの悪性腫瘍まで尿路性器疾患を幅広く内科的・外科的に治療する診療科です。

良性疾患では、在宅医療を受けられている方が排尿障害や尿路感染症を合併され、病診連携で当科を受診されるケースが最近では増加傾向にあります。横浜市医療局の発表でも、今後は在宅医療のニーズが右肩上がりに増加し、病診連携の重要性が増すことが予想されております。日常生活動作（ADL）の低下している患者では、重度の排尿障害や尿路感染症を合併されることが珍しくなく、入院治療が必要になります。我々はこのような患者さんを積極的に受け入れることにより地域医療連携においてお役に立ちたいと考えております。薬物療法だけでなく前立腺肥大症に対する手術や尿路変更術などの外科的治療も行っておりますが、患者毎に全身状態に加え、社会的背景なども考慮して全人的治療を心掛けております。

一方、悪性腫瘍に関しては、年間5万2千人（男性51.5%、女性48.5%）の患者が横浜市内の医療機関でがん治療を受けておられて、男性では6割以上が70歳以上と公表されております。当院は地域がん診療連携拠点病院であり、当科でも多くのがん患者さんを診療させて頂いております。前立腺がんは男性で最も患者数の多い悪性疾患です。横浜市ではがん患者全体の約70%が化学療法を受けておられますが、前立腺がん患者では85%もの患者さんが化学療法を受けられており、手術療法、放射線療法はともに13%と報告されております。当科でも前立腺がん患者さんに対するホルモン療法や化学療法を多く行っておりますが、昭和大学の付属病院泌尿器科間の連携を密にとり、手術用ロボット支援下前立腺全摘術や放射線療法（外照射療法や密封小線源組織内照射療法）も多く行っております。患者さんの年齢や状態、ご希望を加味して各人に適した治療法をご提案しております。膀胱・腎・尿路悪性腫瘍は横浜市では男性で5番目に、女性では6番目に患者数が多い疾患です。最も多い膀胱がんでは表在性膀胱がんに対する経尿道的内視鏡手術や浸潤性膀胱がんに対する根治的膀胱全摘除術といった手術療法、術前・術後化学療法、最近では免疫チェックポイント阻害薬などを組み合わせて治療を行っております。腎がんに対しては外科的治療が最も有効です。以前は患側腎を摘除することが一般的でしたが、最近では腎機能温存の観点から小さな腫瘍であれば腎部分切除術や腫瘍核出術が多く行われております。当科でも腹腔鏡手術や開腹手術による腎温存手術を積極的に行っております。残念ながら遠隔転移のある腎がん患者さんに対しては分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬を用いた化学療法を行っており、飛躍的に治療効果が上がっております。

本年4月から新体制で臨んでいる泌尿器科ですが、昭和大学の建学の精神である至誠一貫を心掛け地域医療に貢献する所存ですので宜しくお願い申し上げます。



泌尿器科
富士 幸藏 教授



医学講座コーナー 小児がん

小児がんは 15 歳未満のがんを指します。通常「ガン」というと「癌」という漢字を当てますが、小児では「がん」とひらがなで書きます。医学用語で「癌」は上皮(皮膚や消化管粘膜、管腔上皮など外界と体内を隔てている細胞)由来の悪性腫瘍を指し、「がん」は粘膜下組織や筋肉、血液細胞、骨など、その他の組織由来のものを含めた悪性腫瘍全般を指す言葉です。小児期の悪性腫瘍には成人で大半を占める乳癌や消化管癌が少なく、白血病、脳腫瘍、リンパ腫など発生母地が上皮と異なるものが多いため、「小児がん」とひらがな表記が用いられます。

日本では毎年約 100 万人が新たにがんと診断されていて、そのうち小児がんは 2,000 人余りです。内訳をみると最多の白血病でおよそ 800 人、固形腫瘍(脳腫瘍を除く)では最も多い神経芽腫でさえ年間 150 例ほどと少なく、細目別で希少がんの範疇に入るものが多いと言わざるを得ません。個々の施設や臨床医が経験できる症例数には自ずと限りがありますので、それぞれのがんに全国レベルでの研究グループが設立されています。研究グループは症例を蓄積し、現時点で最も信頼性の高い治療を中心に標準治療としてガイドラインを作成し、これをもとに各治療施設では個別の症例に対して適切な治療が提供されています。

小児外科医の小児がん治療における役割も時代とともに変遷してきました。シンプルに摘出と術後化学療法(抗がん剤治療)という組み合わせで治療していた時代は摘出から化学療法まで外科医が一貫して担当することもありましたが、今では化学療法や放射線治療の内容のみならず、生検や摘出術のタイミングまでガイドラインに示され、標準治療は複雑化しています。そのため多くの症例で、治療方針決定に小児内科(血液・腫瘍科)主導で行われる tumor board (複数科・多職種による腫瘍カンファレンス) が重要な役割を果たすようになりました。

このような中、当科では躯幹に発生する固形腫瘍(神経芽腫、腎芽腫(ウイلمス腫瘍)、肝芽腫、胚細胞腫瘍など)の根治的摘出手術をはじめ、様々ながんを治療する上で必要な腫瘍生検や皮下埋め込み式中心静脈カテーテル留置手術を担当しています。種別を問わず腫瘍の触知で見つかることが多いのが固形腫瘍に共通する特徴です。もちろん、腫瘍に触れるからと言ってすべてが当てはまるわけではありませんので、気になることがあればかかりつけの医師や定期健診の際などにまずご相談ください。必要に応じて地域の先生方から小児科、小児外科宛にご紹介いただき、当院で診察の上、適切な検査を行いながら診断していきます。当院では血液・生化学検査をはじめ、超音波検査・CT・MRI・核医学検査等の画像検査、必要に応じて内視鏡や生検まで適切な検査を行うことが可能です。

昭和大学では同じ横浜市内にある昭和大学藤が丘病院に平成 29 年 4 月に開設した小児・AYA(思春期若年成人)世代がんセンターを拠点として小児がんの治療に当たっており、症例によっては両病院をまたいでの治療になることもあります。ご不明な点がございましたらスタッフまでお気軽にご相談ください。



こどもセンター
川野 晋也 講師

TOPICS 秋期公開講座のお知らせ

2019 年度秋期公開講座を下記のとおり開催いたします。
皆さんお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

○日時：2019 年 10 月 12 日（土）

○受付：13：00～（予定）

○会場：昭和大学横浜市北部病院 西棟 4 階 講堂

○受講料：無料



〈2019 年度春期公開講座の様子〉

○講演内容

第 1 部：「がんのリハビリテーション」13：30～

講演者：リハビリテーション室

青木 いづみ 技師長

第 2 部：「がん医療における心のケア」14：30～

講演者：メンタルケアセンター

富岡 大 講師

○申し込み方法：①院内設置の受付箱に申込書を投函

- ・中央棟 2 階 エスカレーター横
- ・中央棟 1 階 総合案内
- ・中央棟地下 1 階 時間外受付

②FAX または E-mail にて申込書を送信

※申込書は院内で配布・ホームページにて掲載しております。

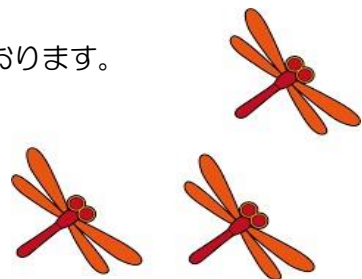
○申込書送信先

FAX：045-949-7117

E-mail：nhkougai@ofc.showa-u.ac.jp

○問い合わせ先

管理課 045-949-7000（代表）



医師の配属・異動・退職

異動・退職医師

【附属施設へ】2019 年 9 月 1 日付

・神尾 義人 （呼吸器センター）

藤が丘病院 呼吸器外科へ

・張田 修平 （皮膚科）

昭和大学病院 皮膚科へ



TOPICS ロビーコンサートのお知らせ



ロビーコンサートを開催いたします。
多くの方にお越しいただけることを
お待ちしております。

日時： 2019年9月26日(木) 19:00～

※院内掲示のポスターをご確認ください。

場所：中央棟 1 階 会計前ロビー

演奏者：洗足学園音楽大学



〈7月のロビーコンサート：なないろ の皆さん〉

ご紹介 ～ 門倉ゼミ コーラス隊 フレーバー ～

2004年に結成した門倉ゼミのコーラス隊。
学内外でのコンサートやイベント、TV、CM等
に出演されています。

これまでに、槇原敬之全国ツアー同行の他、NHK 紅白歌合戦
や2012年のNHK 震災から一年”明日へ”コンサートでは、
SMAP、北島三郎、徳永英明などのバックコーラスを担当。
NHK 歌番組 SONGS や、民放テレビで、ドリームズ・カム・
トゥルー、ゆず、松任谷由美、ゴスペラズ、秋川雅史等のバック
コーラスも担当しているコーラス隊です。



TOPICS がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院以外の方の相談もお受けしています。

受付時間

月～土曜日（祝日除く）

8:30～17:00

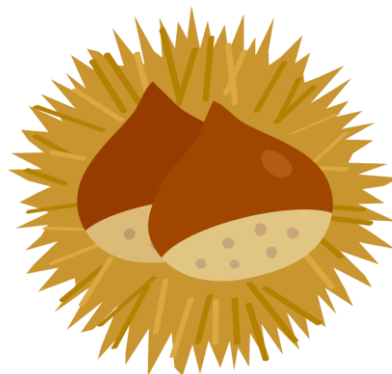
対応時間

月～金曜日（祝日除く）

8:30～17:00

場所

中央棟 1 階 総合相談センター（総合案内隣）



TOPICS モーニングセミナーを開催しています

～モーニングセミナーとは～

当院の職員が講師となり多職種に向けて行うセミナーです。月に2回、全職員を対象に実施しています。診察が始まる前の朝8時からのセミナーですが、毎回多くの職員が参加し、医療人として積極的に知識を深めています。

上半期は北部医学会で発表した演題を中心に講演し、下半期は、各部署やチームの方々に発表する予定となっています。



〈モーニングセミナーの様子〉



TOPICS 栄養科だより

9月に入り、まだ暑さが残るものの日ごとに秋へと季節の変化を感じる今日この頃です。

9月23日は秋分の日。秋分の日是天文学上の秋分日と決められています。また秋分の日前後3日間は、お彼岸の期間になりお彼岸は仏事で、ご先祖様に感謝する日でもあります。おはぎがお供えとして使われているのは、ご先祖様を敬い供養する目的があります。

もち米をあんこで包んで作るおはぎは、秋に咲く萩の花に見立て、あんこの原料である小豆の朱色は邪気を祓うとされています。

秋分の日、当病院もおはぎと共に秋の食材を使用したお食事を提供予定です。お食事を通じて、秋の訪れを感じいただければ幸いです。

季節の変わり目、お体にお気を付けてお過ごし下さい。



〈昨年度の秋分の日メニュー〉



患者さんからのご意見・ご要望

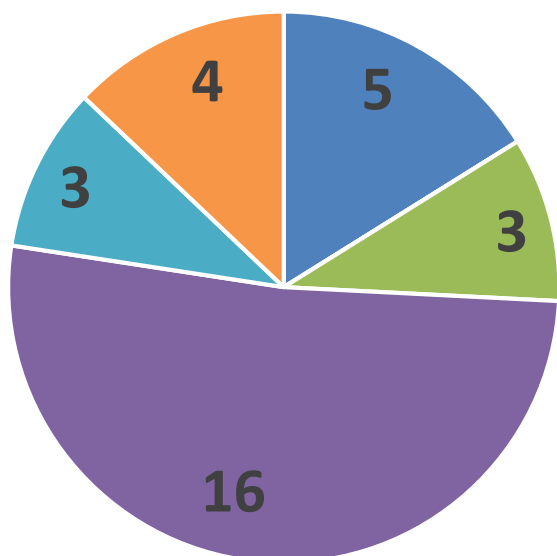
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
食事できる場所(机、椅子)を増やしてほしいです。 1人用の席があるといいと思います。	ご意見ありがとうございます。 9階の食堂では、食堂でご注文いただいた品物だけでなく、コンビニ等でご購入いただいた商品も召し上がっていただけます。また、9階食堂だけでなく、1階の公衆電話のある携帯電話通話可能エリアにも1人用の座席をご用意しておりますので、ぜひご利用ください。
長時間の手術を待つのにデイルームではきついです。家族用の待合室があればいいなと思います。横になれるソファなどがあると助かります。特に高齢者には厳しいです。	ご意見ありがとうございます。 家族待合室の新たな設置につきましては、スペース等の問題があり、困難な状況でございますが、手術室と同じ3階フロアには待合スペースとしてソファもご用意しておりますので、そちらもご利用ください。

令和元年7月 ご意見・ご要望の総計31件



- 接遇・マナー
- 診療内容
- 運用・サービス
- 環境
- 感謝
- その他

診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2018 年 7 月 (入院 : 31 日・外来 : 25 日)、2019 年 7 月 (入院 : 31 日・外来 : 26 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018 年 7 月	19,132 人 (617.2 人)	24,755 人 (990.2 人)	662 件 (22.1 件)	739 件 (35.2 件)
2019 年 7 月	18,702 人 (603.3 人)	25,201 人 (969.3 人)	653 件 (21.8 件)	776 件 (35.3 件)

TOPICS がんサロンのお知らせ

日 時 : 2019 年 9 月 19 日 (木) 14:00~16:00

場 所 : 当院 中央棟 9 階 大会議室

テーマ : 化学療法の副作用について

担当者 : がん専門薬剤師



皆さまのご参加をお待ちしております。

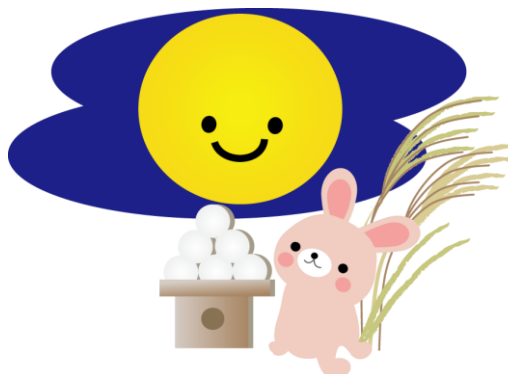
編集後記

早いもので、もう 9 月。とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。残暑が厳しい年も多いのですが、過ぎゆく夏を偲ぶよりも秋の到来を歓迎したいものですね。

秋と言えば、「芸術の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」。その他にもたくさんの秋の楽しみ方があります。秋を探しに、外に出かけてみるのもいいですね。色々とやりたいことを思い描いている人はぜひこの時期に始めてみてはどうでしょうか。私はスペイン語を習いたいと考えています。スペイン語の教科書を片手にカフェにむかい美味しい食べ物も見つけないと思っています。「学習の秋」よりも「食欲の秋」が上回ってしまうかもしれません。

皆さんはどんな秋がまっているでしょうか。気温の変化が激しい時期にもなるので、体調には十分お気をつけてこの季節を楽しんでください。

〈薬剤部 木村 祐子〉



北部病院だより 第 135 号
2019 年 9 月 1 日発行
発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)
発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <http://www.showau.ac.jp/SUHY/index.html>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。